

令和5年能勢町議会11月会議報告

11月7・10日 開催

11月会議には、補正予算1件、人事案件2件、その他1件が提出され、全員賛成により同意可決されました。

◇令和5年度能勢町一般会計補正予算(第4号)〔予算常任委員会に付託〕

補正額	529万円	
(主なもの)	農地災害復旧事業費	180万円
	顧問弁護士委託料	129万円

◇公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて

公平委員 福井 歩 氏

◇固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて

固定資産評価審査委員 中西 富美子 氏

◇土地等の売払いについて

旧能勢の郷を民間に譲渡するもの	
土地売払面積	175,530.67平方メートル
建物延床面積	1,694.27平方メートル
売払価格	3,500万円
売払先	株式会社 カタセ商事

予算常任委員会報告

11月9日 開催

委員長 森田 則子

予算常任委員会に付託された「令和5年度能勢町一般会計補正予算(第4号)」について、委員会を開催し予算内容を審議しました。採決の結果、全員賛成で可決すべきものと決定しました。主な質疑応答は、次のとおりです。

問 弁護士委託料の損害賠償等請求訴訟事件の具体的内容を問う。

答 議場の音響システム整備の入札に係る件で、住民訴訟された事案である。

問 農地災害復旧工事の内容と、予算編成について問う。

答 平野区の農地災害について、5月災害の査定が終わり、工事費を予算化したもので、全事業費180万円(地元の受益者負担90万円、国費90万円)に対し、今後入札による工事を予定している。

用語説明

過疎対策事業債(過疎債)

過疎法により過疎地域とされた市町村が市町村計画に基づいて行う事業の財源として特別に認められた地方債(借金)。返済時に国から70%の助成がある。

建築物ではないソフト事業も対象となるが、返済すべき30%は後年度財政負担となる。そのため、本町では返済額相当分を基金に積むことで、その負担を軽減する方法を採用するとしている。

債務負担行為

事業が単年度で終了せず複数年にまたがって支出しなければならない場合に、あらかじめ後の年度での支払いを約束することを予算で決めておくことを言う。